

令和7年度群馬県教育委員会委託「人権教育推進事業」兼 地区別人権教育研究協議会

学校教育の取組

自他を大切にし、
よりよい人間関係を
築こうとする児童の育成
～お互いを思いやる活動を通して～

沼田市立利南東小学校

本日の発表内容

- ▶ I 研究の概要
 - ・研究テーマ
 - ・研究の内容
- ▶ II 具体的な取組
 - (1)授業改善の推進
 - (2)体験活動の充実
- ▶ III 成果と課題

ぼく「となみん」
よろしくね



I 研究の概要

研究テーマ

▶ 本校の学校教育目標

【基本目標】

社会の変化に主体的に対応できる**豊かな心**、高い知性、強い意志を備え、生き生きと自己表現でき、心身ともにたくましい**実践力のある子ども**を育成する。

【基本方針】

児童・職員ともに**お互いを思いやり**、感謝し合える学校
⇒**チーム利南東**

【目指す学校像】

子どもが**自分を大切に**し、**友達・学校・地域を思いやる**学校



I 研究の概要

研究テーマ



▶ 本校の人権教育目標

人権尊重の精神にもとづき公正・公平にふるまい、差別しない**望ましい人間関係をつくる**とともに、基礎的・基本的な学習内容を身に付けた子どもを育てる。

【本年度の努力点】

常時指導を充実させるとともに、全教育活動における指導を通して、**自分の思いを伝えたり友達の思いを受け止めたりする力を伸ばし、互いを大切にする意識や態度を育成**する。

I 研究の概要 研究テーマ



▶ 主題

自他を大切にし、よりよい人間関係を
築こうとする児童の育成

▶ 副主題

～お互いを思いやる活動を通して～

I 研究の概要

研究テーマ



▶ よりよい人間関係を築こうとする児童の育成

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた**授業改善を推進し**、
一人一人のよさや考えが大切にされるような**対話と交流の充実**
を通して、思いや考えを深められるようにする。

○お互いに思いやることを大切にした**コミュニケーションを**
重視した体験活動を通して、自他のよさや大切さに気付き、
よりよい人間関係を築こうとする態度を育成する。

I 研究の概要

研究の内容①



(1) 授業改善の推進

「伝え合い、共に学びを深める」ための授業改善

①「お互いを思いやる活動」

- 安心感による、対話と交流の活発化。
- ICT機器の活用による効果的な意見共有。
- 教師の役割を見直し。

②外部人材等を活用した職員研修

- 指導・助言を児童に還元。

I 研究の概要

研究の内容②



(2) 体験活動の充実

「思いやりの心を育み、自他を大切にし、
よりよい人間関係を築く」ための体験活動

①異学年交流の充実

→児童の主体的で自治的な活動につなげる。

②専門性を生かした体験

→外部から講師を招き、より専門性の高い学び。

③となみひがし愛ことば

④人権図書ライブラリ

Ⅱ 具体的な取組

(1) 授業改善の推進



▶ ① お互いを思いやる活動

低学年、高学年、特別支援の3ブロックで検討、実践

低学年	高学年	特別支援
<ul style="list-style-type: none">・思いやりの聞き方、話し方カードの使用・道徳のウォーミングアップ(導入)でのよいところさがし <p>⇒話す相手、他の人のためにやさしくする姿が日常的にみられるようになった。</p>	<ul style="list-style-type: none">・道徳科における発問の工夫と精選・うなずきや拍手などで共感や受容の気持ちを示す・重要課題の直接指導 <p>⇒他者に対して思いやりのある行動や言葉遣いをしようとする児童が増えた。</p>	<ul style="list-style-type: none">・みんなで気持ちを想像して言語化し合う活動・朝の会「みんなでめあてを考える」・「反応カード」で意思表示の補助 <p>⇒友達が言語化してくれることで落ち着いた。一方通行でない言葉のやりとりが生まれ、共感するきっかけに。</p>

Ⅱ 具体的な取組

(1) 授業改善の推進

▶ ① ①お互いを思いやる活動

【共通】

- ・ペアやグループなどさまざまな形態での児童間の協働学習。
(ICT機器の活用)
- ・対話や交流の必要性を感じられる場面設定。
(教師の役割)
- ・話しやすい、受け入れやすい関係・環境づくりを常時指導から。

⇒ 児童の実態に応じて指導方法の工夫や改善



Ⅱ 具体的な取組

(1) 授業改善の推進

▶ ② 外部人材等を活用した職員研修

- ・人権教育推進研修(NITS、6月)
- ・特別支援教育研修(①臨床心理士、7月 ②群馬大学教授、9月)
- ・SST研修(スクールカウンセラー、8月)
- ・CAP研修(CAPぐんま、9月)

⇒ 専門家からの指導・助言を受け、児童に還元。



Ⅱ 具体的な取組 (2) 体験活動の充実

① 異学年交流の充実

- ・朝遊び(月曜朝の憩いの時間)
- ・1年生をむかえる会
- ・団活動(運動会、冬場の遊び)
- ・読み聞かせ(図書委員会)
- ・外で遊ぼうキャンペーン(保健委員会)
- ・学校保健委員会「心の健康」自分も友だちも大切にしよう
- ・スポーツテスト測定(高学年が低学年のお手伝い)
- ・交流清掃(6年生が1年生に教える)



Ⅱ 具体的な取組 (2) 体験活動の充実

▶ ② 専門性を生かした体験

- ・人権講話①(元小学校長)
- ・人権講話②(アンカンミンカン富所さん)
- ・人権教室(人権擁護委員)
- ・命の大切さ講座(利根中央病院医師)
- ・情報モラル講習会(沼田警察署生活安全課)



Ⅱ 具体的な取組 (2) 体験活動の充実

▶ ② 専門性を生かした体験

- ・命の宝さがし(認知症ネットワーク)
- ・手話教室(利根沼田聴覚障害者協会)
- ・車椅子体験、高齢者体験(社会福祉協議会)
- ・ソーシャルスキルトレーニング(スクールカウンセラー)
- ・支援学校との交流、居住地校交流(沼田特別支援学校、県立ろう学校)
- ・一時帰国に伴う体験入学(アメリカ、台湾)



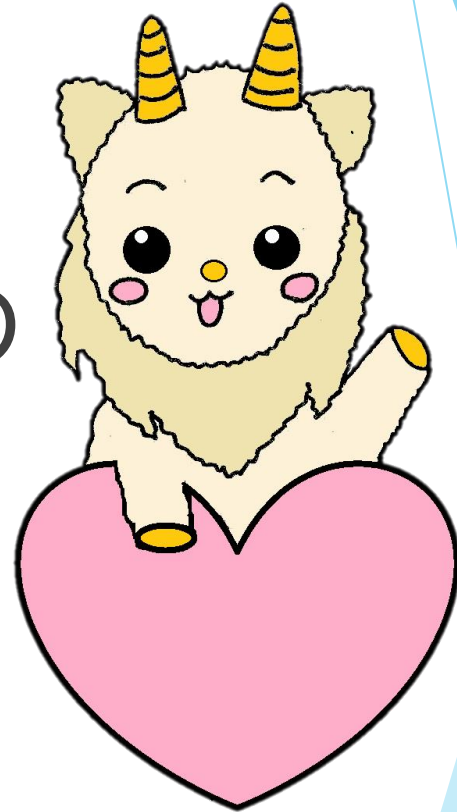
Ⅱ 具体的な取組 (2) 体験活動の充実

③【となみひがし愛ことば】

① とにかくあいさつ

② なんでも話して

③ みとめあい、たかめあい



Ⅱ 具体的な取組 (2) 体験活動の充実

③【となみひがし愛ことば】

とにかくあいさつ

▶ あいさつ運動

- ・「あいさつさしすせそ」(生徒指導)
- ・あいさつスタンプラリー(企画委員)
- ・集会時のハイタッチあいさつ(企画委員)



あいさつ さしすせそ

① わやかに「おはようございます」

！日のはじまりはえがおでいこう！

② っかいと「ありがとう」

うれしいきもちをつたえよう！



③ れちがうとき「こんにちは」

あかるいこえがいっぱい学校に！

④ っかくなら「よろしくお^{おが}願いします」

おねがいされるほうもうれしいな！

⑤ っと「ごめんなさい」

いいづらいけど、いえてえらいね！

Ⅱ 具体的な取組

(2) 体験活動の充実

③【となみひがし愛ことば】

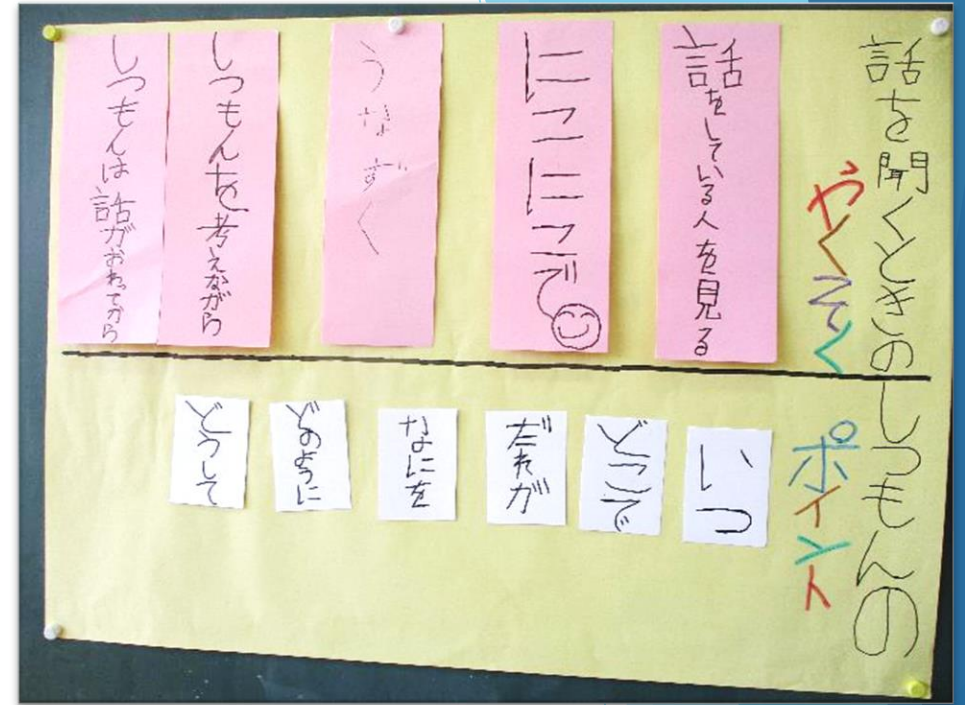
なんでも話して

▶ 話しやすい関係性や環境づくり

- ・受容と共感を基本姿勢とした生徒指導
- ・「しつもんポイント」「聞くときのやくそく」などのヒントを提示

▶ 相談窓口の設置

- ・児童による相談ポスト(企画委員)
- ・生活アンケート(生徒指導)



Ⅱ 具体的な取組

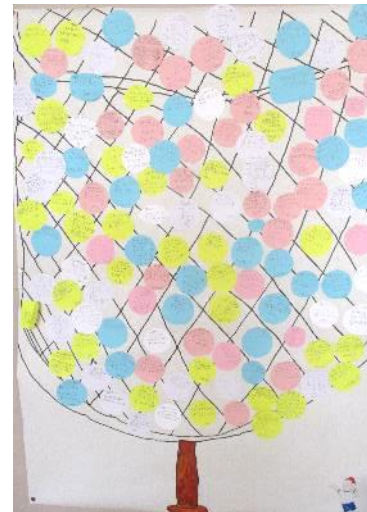
(2) 体験活動の充実

③【となみひがし愛ことば】

みとめあい、高めあい

▶ よいところさがし

- ・1学期末のよいところさがしの「かき氷」「朝顔」
 - ・修学旅行のふりかえり「ハート」(6年生)
 - ・運動会をふりかえる「玉入れ」「団旗」
 - ・2学期末(人権週間)の「木」
 - ・3学期末の「花束」
 - ・毎月の生活アンケート
 - ・帰りの会での今日のMVP紹介
- ⇒学年・学級を超えた認め合い・高め合い。
所属感、自己有用感を得られる。



Ⅱ 具体的な取組 (2) 体験活動の充実

▶ ④ 人権図書ライブラリ

- ・休み時間等の自由読書。
- ・担任による読み聞かせ。
- ・集会等でのおすすめの本紹介

⇒ 人権の重要課題について知る機会。

自分や他の人を大切にしようと思うきっかけに。



Ⅲ 成果と課題

▶ 取組の結果

○成果

全校をあげての人権教育の取組によって、
全体的には、**よりよい人間関係**を築こうとする力や
自己肯定感を育むことができた。



▲課題

自信をもって自分を表現して、周りを大切にできるように、
継続して人権への関心をさらに高めていく必要性がある。